

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【公表番号】特表2011-526538(P2011-526538A)

【公表日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2011-041

【出願番号】特願2011-515460(P2011-515460)

【国際特許分類】

B 0 2 B	5/02	(2006.01)
B 0 2 C	4/06	(2006.01)
B 0 2 C	4/28	(2006.01)
B 0 2 C	4/08	(2006.01)
B 0 2 C	9/04	(2006.01)
B 0 2 C	11/08	(2006.01)
B 0 2 C	23/12	(2006.01)
B 0 2 B	3/14	(2006.01)
B 0 2 B	7/02	(2006.01)
B 0 2 B	3/04	(2006.01)
A 2 3 L	1/10	(2006.01)
B 0 7 B	4/02	(2006.01)

【F I】

B 0 2 B	5/02	B
B 0 2 C	4/06	A
B 0 2 C	4/28	Z
B 0 2 C	4/08	
B 0 2 C	9/04	
B 0 2 C	11/08	
B 0 2 C	23/12	
B 0 2 B	3/14	
B 0 2 B	7/02	1 0 6
B 0 2 B	3/04	1 0 2
A 2 3 L	1/10	H
B 0 7 B	4/02	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年1月8日(2014.1.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 4】

本明細書において、ストックベッド式ローラミルというのは、力を制御されるローラミルのことを意味する。例えば機械式に予負荷されたばね又は液圧式に連結されたガス蓄圧器が力発生のために使用される。圧力がローラに対してローラ間隙に向かって加えられ、その結果ローラの間のローラ間隙は、該ローラ間隙において粉碎される穀物の量及び種類並びに調節される圧力に関連して、調節される。例えば、ローラ直径の約0.5%～2%の間隙を調節することができる。結果として生じる粉碎間隙は、特に摩擦に関連した穀物の引き込み時に、ローラによって生ぜしめられる。この場合粒子の一部は、間隙よりも大き

くて良い。しかしながら典型的には粒子は、生じる間隙よりも小さい。ローラの間ににおける引込み領域においては、ストックベッド式ローラミルが、例えば穀物を満たされた材料シャフト又はホッパを用いた穀物の過剰供給状態から、穀物を引き込むことができる場合に、ストックベッド (Gutbett) が生じる。このストックベッドの粉碎は、粉碎間隙において挟み込まれる粒子の注入 (Partikelschüttung) に基づく。粉碎力の調節は、ローラミルにおけるエネルギー供給を制御するために働く。エネルギー供給は、材料及び穀粒に関連して、ストックベッドにおける細かい製粉製品の発生を規定し、かつ最適な範囲への調節を可能にする。